



南伊勢町議会だより

みんなのぎかい

平成29年11月1日発行 No.43



主な内容

9月定例会	P 2～3
「一般質問」ダイジェスト	P 4
一般質問	P 5～13
議会活動報告	P14
ぎかい応援レター	P15
みんなでやっとなで～ ほか	P16

大きなあれ

— マクロの給餌体験 —

重点事業と注目ポイント

9 月 12 日から 14 日までの日程で、第 3 回定例会が開催され、29 年度補正予算 7 件、条例案 1 件、工事請負契約の変更案件 2 件、財産の取得案件 1 件、過疎計画地域自立促進計画の変更案件 1 件が提案され、すべて原案通り可決しました。平成 28 年度歳入歳出決算認定案件 9 件は、各常任委員会に付託されました。また健全化判断比率等報告案件 2 件と 1 件の同意案件があり、加えて 4 件の請願とそれに伴う発議が 4 件、道路整備に係る補助率の嵩上げ措置継続を求める意見書に関する発委が 1 件あり、可決しました。

議案第 68 号 工事請負契約の変更について

愛するペットの火葬も 可能になった新南勢火葬場



火葬場出入り口にあたる坂道における造成・道路工事が行われます。

舗装面積	653 m ²
アスカープ	131 m
(変更前)	4億6084万円

南伊勢町
南勢火葬場建設工事
4億6414万円

議案第 69 号 工事請負契約の変更について

今年度完成予定 緊急車両も通しやすい道路に



相賀浦地内、道路改良工事が行われます。

舗装面積	1050 m ²
ボックスカルバート	56.5 m
(変更前)	7452万円

〔相賀浦〕その他町道
大坪第1本線道路改良工事その2
8127万円

平成28年度決算認定を委員会付託

決算内容をより深く専門的に議論するために各常任委員会で審査を行います。次回（12月予定）第四回定例会にて各委員長より審査報告が行われる予定です。

- ▼平成28年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算
- ▼平成28年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ▼平成28年度南伊勢町介護保険特別会計歳入歳出決算
- ▼平成28年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ▼平成28年度南伊勢町戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算
- ▼平成28年度南伊勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ▼平成28年度南伊勢町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- ▼平成28年度南伊勢町病院事業会計決算
- ▼平成28年度南伊勢町上水道事業会計決算



一問一答方式の実施について

議論の活性化と町民の皆さんに分かりやすい議会運営とするために、第三回定例会での質疑において、一問一答方式が試行的に導入されました。

主な質疑

問 「みなみいせ商会」町内の資源活用についての考えは。

答 農林水産資源の活用について、付加価値や販路拡大を含め「みなみいせ商会」に委託し、事業を進めていきたい。

問 公営住宅維持補修費について。利用者からの要望、現状の課題は。

答 維持補修の要望があったものについて、すべて修繕済。高齢者の利用者も多く、2階建てより平屋を希望する意見もある。

問 バイク旅促進事業の費用対効果について。

答 事業は十の市町で構成しており、バイク利用の観光客は増えていると実感している。ただ去年からの事業のため数字的なデータはまだない。

問 ブドウの試験栽培の成果は。

答 約百キロを収穫し、赤ワイン32本、白ワイン30本の成果をあげた。

南伊勢町魚消費拡大応援条例 11月は消費拡大応援月間!



あなたの声を町政に!!

一般質問

議員の **Q**uestion 行政の **A**nswer

一般質問は、議員が自分自身の考えや町民の声をもとに、町長に行政の執行状況や将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
河村健志	①防災対策について	5
倉田育	①働きやすい職場環境の整備と、パワハラの防止に向けた取組について ②大学進学奨学金について	6
手塚征男	①町内の老人保健施設の増設について ②町民が安全で安心して暮らせるために ③高レベル放射性廃棄物処分場問題について ④地方創生事業における竈方地域の取組について	7
山本芳隆	①ハチの巣駆除について	8
田中喜一郎	①住環境整備関連について ②子育て支援関連について ③合理的配慮関連について	9
松葉和久	①経営所得安定対策（旧農業者戸別所得補償制度）廃止について ②防潮堤の防潮扉や水門・樋門・門扉等津波発生時の施設開閉について ③二次避難所の整備について	10
岡田和夫	①一次・二次避難所の整備と、仮設住宅の計画について ②若者定住の狙いどころと、高台への住宅建設の促進について ③南伊勢町の地域包括ケアの体制整備について ④障がい者の国保から後期高齢者医療保険への変更と、透析治療について	11
掛橋靖	①地域と行政の関わりについて ②28年度決算について	12
岡本眞	①地域創生を成し遂げるために	13

一般質問の質問事項・内容は、広報委員会では会議録に基づいて編集し、要約しています。
詳細は議会事務局にお問い合わせください。（TEL 0599-66-1781）

傍聴者の声



南伊勢町議会定例会へ傍聴に来ていただいた方の声を掲載します

- （議員質疑に一問一答方式が試験導入されて）話の内容が聞きやすくなった。続けてもらいたい。
- 傍聴者が少ないので、もっと傍聴してもらえよう町民へアピールを。
- テレビ放送では見れない議会の流れが見れて良かった。



河村健志 議員

被災想定は

天井落下、ガラス飛散など 町長

Q

2次避難場所の被災想定と対策は。

A

町長 浸水しない場所、耐震性のある31箇所の公共施設を2次避難場所に指定している。いくつかの建物で、天井落下や窓ガラスの飛散を想定している。その対策がされていない施設は管理者と協議し対策を検討する。



お湯で20分、水なら60分

Q

災害協定の平常時からの協力は。

A

町長 各協力企業とは、平常時より情報協力体制を維持し、訓練時にも農協、漁協から食料品調達や海上訓練などの個別訓練も協力してもらっている。

また、度会町とは職員と一緒に勉強会や情報共有を行っている。



時間と勝負

パワハラ対策は

必要がない 町長



倉田 育 議員

Q

働きやすい職場環境作りを形成することは当然である。当町の職場環境作りは。また、全国的にも関心が高まっている「パワハラスメント問題」への取組と防止対策は。

A

町長 各職場には衛生委員会を設置し、職員の健康保持増進を図っており、町立病院長による職場巡視や健康診断、



チームワークばっちり

ストレスチェックも定期的を実施し、各課長による面談や指導なども実施している。更に、ノー残業デーや有給休暇取得の奨励を行っている。また、パワハラ防止対策を講じる必要性についての考え方は、働きやすい職場環境の形成においては必要ないと考えている。これまでもコンプライアンス研修を通じて実践している。

奨学金対象の私大選定は

9月8日に決定 町長

Q

当町独自で創設した「大学進学奨学金」の対象となる私立大学の選定はいつなのか。

A

町長 南伊勢高校大学進学奨学金については、条例にて奨学金

の額を「国公立大学及び基準に定める大学」と「上記を除いた大学」に区分している。そのうち「基準に定める大学」については、審査委員会において検討し、9月8日に決定した。



夢を後押し



手塚 征男 議員

老健施設増設は

委員会にて検討 町長

Q

一人暮らしの高齢者はもちろん、介護している人が介護を必要となったときに老健施設が必要である。町としての建設計画は。

A

町長 第5期介護保険事業計画では、町民アンケートを実施し、特別養護老人ホームや老人保健施設などの整備について、第6期では小規模多機能居宅介護施設の整備につ

いて検討または計画し、現在検討中の第7期では、調査による町民の意向もふまえ、老人保健施設を含めた施設整備について、介護保険事業計画等策定委員会にて、検討していく。



笑顔で健康

整備を早く

優先順位を確認しながら 町長

Q

町民が安全で安心して暮らせるために、道路と河川などの維持管理、整備を早くする必要があるので。

A

町長 住民生活に密着している道路・河川は速やかに対応する必要があります。町管理の通常維持管理については、地区であったり、町の維持管理契約業者にて対応してもらっている。指摘のあった箇所は予算の関係上、優先順位を確認しながら取り組んでいく。県の管轄については、継続して要望していく。



速やかな維持管理

何らかの手助けが必要では 設けていない状況 町長



山本 芳隆 議員

Q

ハチの巣駆除について、今年度の相談件数は何件か。また、十年ほど前は、防護服の貸し出しがあったが、今の対応は何らか業者から苦情があったのか。

A

町長 4月から8月までの相談は15件程あった。また、防護服の貸し出しは、ハチの巣駆除の知識の無い者が駆除を行うとハチが攻撃的となり、危険が増すと業者から苦情があった。

Q

現代社会の背景を考えた時、ハチの巣駆除に何らかの手助けが必要と思うが。

A

町長 県内29市町のうち補助制度があるのは1自治体で、現在のところ多くの市町ではハチの巣駆除のための補助金制度を設けていない状況である。

Q

「南伊勢町環境保全条例」に「町民等は、その占有し、又は管理する土地又は建物及びその周囲の清潔を保ち、相互に協力して地域の生活環境を保全するよう努めなければならない。」とありますが、ハチの巣の駆除は、土地の管理者が行う必要があるのではと考えるが。

A

町長 条例第18条「町民等の土地建物等清潔保持」の規定については、この条文を広く捉えれば、ハチの巣除去については、土地の管理者が行う必要があるのではないかと考える。



ハチの巣には気をつけて



田中喜一郎 議員



夢がふくらむマイホーム

町内に定住するために

引き続き検討を 町長

Q

若者定住対策で、若者が町内に定住するために住宅を取得した場合、新築物件は最大200万円、中古物件は最大50万円を補助する事業の進捗状況と課題点は。

A

町長 8月末で新築住宅7軒の申請があり交付決定を行った。中古住宅については、現在のところ申し込み、問い合わせ等はない。課題としては、住宅を新築するにあたり、高台に入地できる土地はないのかと

いう問い合わせが数件あった。今後、当町が計画している住宅分譲用地の利用状況を見極める中で津波浸水域外や高台への住宅用地の確保についても引き続き検討していきたい。

合理的配慮の取組は

現に実施されている 町長

Q

「障害者差別解消法」の施行により、一人ひとりの困りごとに合わせた「合理的配慮」の提供が行政・事業者に求められているが、当町における取組と課題は。

A

町長 当役場においては、それぞれの窓口や現場で現に実施されている。また町民の皆さま

んにおかれても日常の中で自然に合理的配慮をしている。ただいていると感じている。地域の中での支えあいにより安全に安心して生活できるよう、役場職員や地域自立支援協議会、障害者生活交流会、いくつかの事業所などに対して今後も機会を捉えて、配慮のある行動を実際に取っていただくよう話をしていきたい。



気軽にどうぞ♡

同等な事業費を

動向を見極めて検討を 町長



松葉和久 議員

Q

経営所得安定対策廃止について、これに替わる事業について国からの情報が入ってきているのか。もしこのような事業がなければ、町として来年度予算に、これと同等な事業費を組み入れる考えは。

A

町長 米の直接支払交付金については、平成30年度以降これに替わる事業の方針が決まっていない状態だが、主食米



お米大好き!!

については、対策の継続は考えにくいとしており、飼料米等についても、国の予算要求の際にある程度の方針は見えてくる可能性はあるが、詳しいことは、まだ未定である。

米は、当町においての基幹作物であり、農業の振興、耕作放棄地の解消、担い手の育成などの観点からも、今後、国、他市町の動向を見極めて検討していきたい。

行政としての考えは

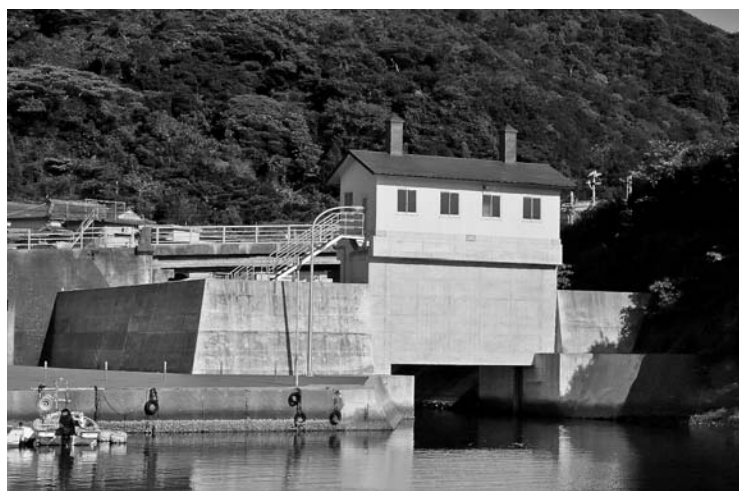
生命を守る必要がある 町長

Q

防潮堤の防潮扉や水門・樋門・門扉等津波発生時の施設の開閉について、東海・東南海・南海地震の発生時、津波の到達する時間が早い場合、施設の閉める方法と各区や消防団の行動について、行政としてどのように考えているのか。

A

町長 南海トラフ地震などの巨大地震が発生した場合には、短時間で津波が襲来するおそれがあるため、各区や消防団員は、自らの生命を守る必要があることから、水門を閉める作業は行わず、直ちに一次避難所などへの避難行動を取ることとしている。



備えあれば!!



岡田和夫 議員

住宅用地の整備は

確保を検討 町長

Q 若者定住の狙いどころと、高台への住宅建設の促進について。

A **町長** 当町の次世代を担う若者定住の考え方は、おおむね45歳までの子育て世代を想定している。住宅用地の整備については、高台を希望する若者が多いこともあり、高台への住宅用地の確保は重要な施策である。若者定住促進のため、津波浸水区域外や高台への住宅用地確保を検討していく。



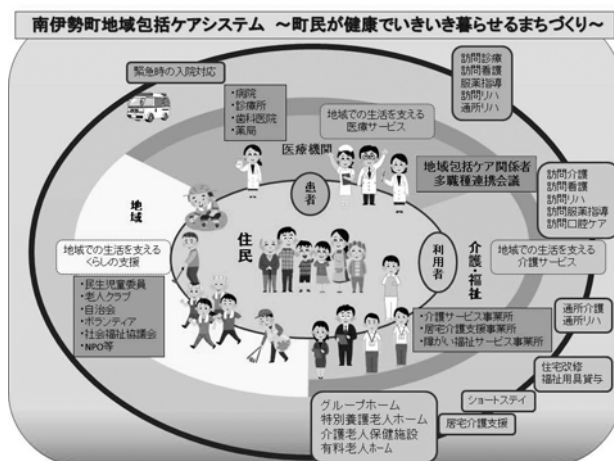
安心安全を求めて

体制整備は

取組を続ける 町長

Q 当町の地域包括ケア体制の整備は。

A **町長** 地域包括ケアとは、医療・介護・生活支援の連携体制作りであり、そういう体制が作られているまちづくりと考える。今後もこの視点に立って取組を続けていく。



豊かな老後

今後の対策は 一緒に課題解決を 町長



掛橋 靖 議員

Q

町内38集落の現状について、行政としてどのように把握し、課題や問題、今後の対策をいつ、どこで、どのようにして確認するのか。

A

町長 当町においては、各地域が主体的に行う取組の支援を行うことを目的に地域づくり支援事業に取り組んでいる。この地域づくり支援事業については、毎年区長会において、事業趣旨や地区への配置職員について説明を行い、地域づくり支援員は、地域と一緒に考え、一緒に地域の問題解決に向けて取り組むことを目標に、地域づくりを進めている。



エルガー体操で地域づくり

Q

当町にとっての重点施策「若者定住促進事業」の成果と評価は。

A

町長 平成28年3月に策定した総合戦略に基づく各事業をはじめ、雇用対策、住宅対策事業を実施してきた成果として、地域に愛着を持つ子どもたちの増加や、コミュニティの活性化も図られてきた。今後も、取組が可能な施策については、積極的に取り入れていく。

若者定住促進事業は 積極的に取り入れていく 町長



若者目線で



岡本 眞 議員



組織力強化

行政マネジメントに関して

組織力を高める 町長

Q

これからの行政運営で、大切なことのひとつに行政マネジメントがあると思うが、考えは。

A

町長 当町においては、行政マネジメントには、地域マネジメントと行政組織マネジメントの2つがあると考えている。これら2つのサイクルを統合した「南伊勢町行政経営システム」をもとに町

政を運営しているが、円滑に運営し、機能強化を図っていくには、職員一人ひとりの能力向上と職員が相互に関わり合い、総和以上の力を最大限発揮できるような組織力を高めることが重要である。

ふさわしい教育とは

知・徳・体の調和 教育長

Q

少子化がどんどん深刻化していく中で、これからの時代にふさわしい教育とは。

A

教育長 将来の当町を担う子どもたちのために「生きる力」を身につける教育と、町づくりのための人づくりをめざした教育。



ふるさとフォーラム 21

定例会にて意見書を可決！ ～そして、国政への陳情活動を実践～

9月26日(火)、27日(水) 議員6名、事務局1名



9月定例会にて、今年度までの制限措置となっている、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置にかかる法律」の交付金事業補助率高上げを、来年度以降も継続を求め、国への意見書提出を全会一致で可決しました。

道路整備に係る補助率等の 高上げ措置の継続を求める



『思いを行動へ』

定例会閉会してからの12日後には、議会を代表して、上村議長を先頭に、副議長、各常任委員会、特別委員会の委員長で、県選出及び関連ある衆参国會議員13名に、要望書を提出してきました。



バイパス工事予定(船越)

当町は、念願であった国道260号線の三坂峠改修工事や、船越バイパス工事を控えています。この制度がなくなれば、これらの道路整備にも大きな影響が出てしまいます。私たちは皆さんの思いと一緒に二日間、衆議院と参議院の両議員会館を、衆議院解散前の渦中にあえて思いをぶつけてきました。



ぎかい応援レター



ぎかい

60 代女性



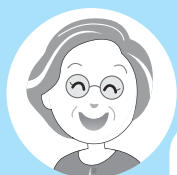
鈴木知事に失礼…

知事と小山町長との対談を見に、南島から町文まで出かけました。すごくいい話を聞かせてもらったけど、観客の少なさにびっくり！わざわざ遠い南伊勢まで来てくれているのに、こんなの失礼で恥ずかしいと思った。

遠いから当たり前だけど、私の地元からも少なかった。せっかく国道260号線（三坂峠）の工事でお世話になるのに、関係する地元の区長さんや役員さん、建設会社の人らも、バスぐらい出して聞きに行くのが礼儀ではないのかな？最低限のおもてなしとして…

選挙の時だけ動員して、肝心の町おこしができなかつたらあかんと思う。

役場にも言いたい！バスぐらい手配して、遠い地域の人足を確保して！こんなんやでいつまでたっても南伊勢は一つになれんよ！



70 代女性

軽く開くゴミ収集箱の扉

町のゴミ収集箱が新しくなり、扉が開けやすくなって嬉しいです。できれば迷惑ゴミが少なくなるよう、ゴミの分別方法（ゴミカレンダー）が書かれたものを収集箱に見やすく貼り付けておいてほしい。

minamiise

あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^) みんなでつぶやきましょう。思ったこと、感じてることを 200 字程度でつぶやいて、ハガキが **FAX** で送ってくださいね。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 **FAX** 0599-66-2164


南島中学校
みんなでやっとなで〜

 文
学校篇
 No.5

今回は、町内小中学校それぞれの学校でがんばっている事や特色などを紹介します。

体験から学ぶ
南島中学校

南島中学校では、めざす学校像の中に「地域に根ざし、地域から信頼される学校」、そして、めざす生徒像の中に「ふるさとを愛し、地域を元気にする生徒」を掲げています。地域での体験から学ぶことを大切に、自分の生き方と共に、南伊勢町のことをしっかりと考える取組を進めているところです。この取組に関わって、これまで町や教育委員会、町内のいろいろな事業所等で大変貴重な体験学習をさせていただいており、その中の一部を紹介させていただきます。

河村瑞賢学習 江戸時代に活躍した河村瑞賢翁について学習しました。ふるさとの偉人として身近に感じながら、自分の生き方に活かしていければと思います。

水産学級 ふるさと学習の一環として、1年生の生徒が水産学級に参加し、『鯛とカサゴの標識打ち・放流』『海水のプランクトン観察』『ロープワーク』の3つを体験しました。生徒たちは、「漁師さんは、いろんなロープの結び方を知っていてすごい」「鯛を弱らせないように素早くタグを打つのが難しかった」「何万種類もプランクトンがいて聞いて驚いた」など、それぞれの体験から貴重なことを学んでいました。

職場体験学習 2年生の生徒が、町内の13の事業所に分かれて、3日間行いました。生徒たちは、働くということについて、思っていたことと違うことに気づいたり、目に見えないところでの苦労があることを知ったりでき、大変有意義な体験をさせていただきました。

こういった体験学習は、生きる力の育成や将来に向けて進路を考える際に大変有意義なことです。また、少子高齢化が進む南伊勢町ですが、未来の南伊勢町を担う若者を育てるためにも、この町のいいところや、これからもさらに発展させ残していかなければならないものなどを、生徒の目線で認識し、未来の南伊勢町について考えていく学習を積極的に進めていきたいと考えています。地域の皆様方には、今後ともご協力いただきますよう、よろしくお願いします。


議会を傍聴しませんか
次回定例議会
 (予定)

12月議会
12月 12日～12月 18日

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆さまの傍聴をお待ちしています。

議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。TEL 0599-66-1781 FAX 0599-66-2164

議会広報特別委員会

委員	副委員長	委員長
掛田 山 河 倉	橋中 本 村 田	喜芳 健 育
靖 郎	隆 志	

議 長 上 村 久 仁

9月定例会では議会改革が進み、審議の進め方が一部変わりました。(一問一答の試験導入) また町民の皆さまに身近で開かれた議会を目指して、広報委員会一同もわかりやすい広報誌編集に努力してまいります。今後とも議会だよりを通して、様々なご意見をいただければ幸いです。



空を見上げると秋のうろこ雲が広がっていて、季節の移り変わりを実感します。10月には衆議院選と町長改選期が重なりました。国の大きな動きに加え、私たちに身近な地方自治も一歩進展していくため、どのように変わっていくのか楽しみです。

編集後記
